

3; dyskinesia の3群に分類すると、1群では異常集積は認めず、2群では60%、3群では71%に異常集積を認めた。これらの結果より、OMIにおけるTc-PYPの心筋異常集積は、多枝病変であるほど高く、壁運動異常を伴う心室瘤の症例に高率に認められることが理解できた。

17. ^{99m}Tc -MAAによる肺血流シンチグラフィにて心筋が描出されたと考えられる1例

伊藤 毅 外山 宏 河村 敏紀
竹内 昭 古賀 佑彦 (保衛大・放)

^{99m}Tc -MAA (大凝集ヒト血清アルブミン) は肺動脈血流の評価に広く用いられている。また心において右左短絡が存在する場合、その程度に応じて腎・甲状腺・脳などが描出されるが心筋が描出された報告は比較的少ない。今回われわれは失神発作にて発症したASDおよびEisenmenger症候群の23歳の女性の例を経験した。肺血流シンチでは正中から左第四弓にかけての集積がみられLAO 30°で前胸部で馬蹄型の集積を示していた。また肺への集積は不均一に低下がみられた。心筋への集積の機序としては、高度の右左短絡と冠血流量の増加によるものと推測された。

18. ^{67}Ga -DFO-DAS-Fibrinogenを用いた血栓イメージングの臨床経験

四位例 靖 分校 久志 村守 朗
絹谷 清剛 利波 紀久 久田 欣一
(金沢大・核)

血栓イメージングに関しては従来より種々の薬剤が用いられてきたが、ルーチン検査として定着するものは少なかった。今回われわれは血栓の存在が疑われる16名の症例に ^{67}Ga -DFO-DAS-フィブリノーゲンを投与し、48時間後および72時間後の全身前後像にて評価してみた。

その結果、ASO 7例中4例、大動脈瘤4例中3例、多発脳梗塞1例、左室偽心室瘤1例にて異常集積を認めたが、深部静脈血栓2例、巨大左房血栓1例では集積を認めなかった。

^{67}Ga -DFO-DAS-フィブリノーゲンは、 ^{111}In -oxine血小板等にくらべ、調製の簡便さや抗血栓剤投与により陽性率が低下しない点などから血栓イメージング用剤として期待できる薬剤と思われた。

19. ^{67}Ga -フィブリノーゲンによる血栓シンチ

伊藤 健吾 牧野 直樹 大島 統男
石垣 武男 佐久間貞行 (名古屋大・放)

Y グラフト施行例7例、深部静脈血栓症例3例など計13例を対象に血栓イメージング用放射性薬剤 ^{67}Ga -DFO-DAS-fibrinogen (以下 ^{67}Ga -フィブリノーゲン)の臨床応用を行い、以下の結論を得た。1) ^{67}Ga -フィブリノーゲンは48時間後までは血液プール像が混在し判定には72時間後像が有用と思われた。2) Y グラフト施行例では全例、軽度ながらRI集積を認めた。これは術後経過時間とは無関係であり、velour Dacron graftへの特異的な集積と思われた。3) 深部静脈血栓症でも血流途絶部位にはRI集積がなく、2例の陈旧例では ^{99m}Tc -MAAの方がはるかに有用であったが、1例の急性例では逆に ^{67}Ga -フィブリノーゲンがより有用であった。

20. ^{67}Ga -フィブリノーゲンの使用経験

—人工血管置換術後症例について—

曾根 康博 今枝 孟義 土井 偉誉
(岐阜大・放)
小池 茂文 松本 興治 広瀬 光男
(同・一外)

腹部大動脈瘤、閉塞性動脈硬化症等にて人工血管置換術が施行された20例に ^{67}Ga -フィブリノーゲン(以下Ga)、 ^{99m}Tc -フィブリノーゲン(以下Tc)によるイメージングを行い、グラフトへの集積状態を検討した。Gaは2mCi静注48または72時間後に撮像した。Gaは20例中16例(80%)、Tcは7例(35%)に集積を認めた。術後期間別に検討すると術後3週以内の11例中10例(91%)にGaが集積し、術後早期の人工血管へのフィブリン沈着を反映していると思われた。Tcは血液プール像が中心で大血管、腎、膀胱が描出され、グラフトへの集積判定が困難であったが、Gaはグラフトにかなり特異的に集積した。